固体廃棄物貯蔵庫第10棟の竣工および10-C棟の運用開始

2025年5月29日

東京電力ホールディングス株式会社

固体廃棄物貯蔵庫第10棟の概要

◆施設概要

廃炉作業で発生した瓦礫類をコンテナに収納して段積みし、屋内に一時保管する施設。

- A棟：運用中（2024年8月～）
- B棟：運用中（2024年10月～）
- C棟：**2025年4月25日竣工（使用前検査終了証受領）**
  5月15日運用開始

	A棟	B棟	C棟
東西方向×南北方向×高さ (m)	約50×約90×約20		約50×約180×約20
保管量 (m^3)	約2万		約4万

固体廃棄物貯蔵庫 第10棟の配置
(左からA･B･C棟)

10-C棟の外観

10-C棟の内部

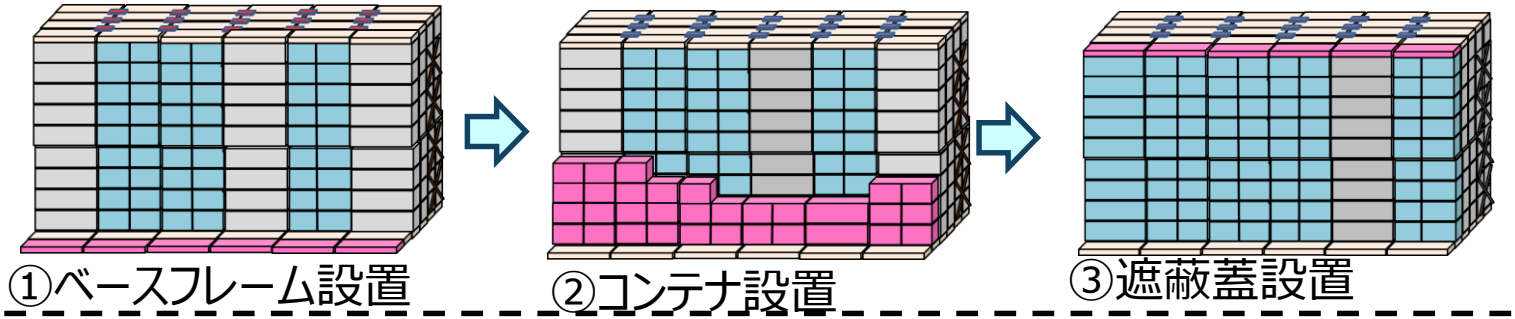
10-A･B棟の外観

【参考】固体廃棄物貯蔵庫第１０棟における瓦礫類の保管方法

◆10ft、20ftのハーフハイトコンテナを９段積みで保管

◆段積みする際には、耐震補強でベースフレームを設置し，コンテナを設置し，遮蔽蓋を設置する

◆建屋の奥（南面）から上記のステップで１面ずつ構築する。



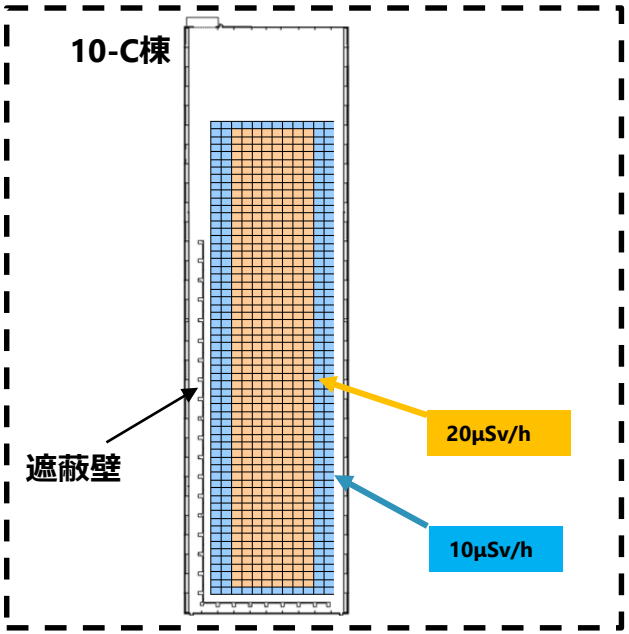
※詳細・写真は次ページ参照

◆一時保管する瓦礫類の表面線量率は下記の通り

- 10-A棟、10-B棟：1mSv/h以下
  （将来的には20μSv/h以下）
- 10-C棟：20μSv/h以下

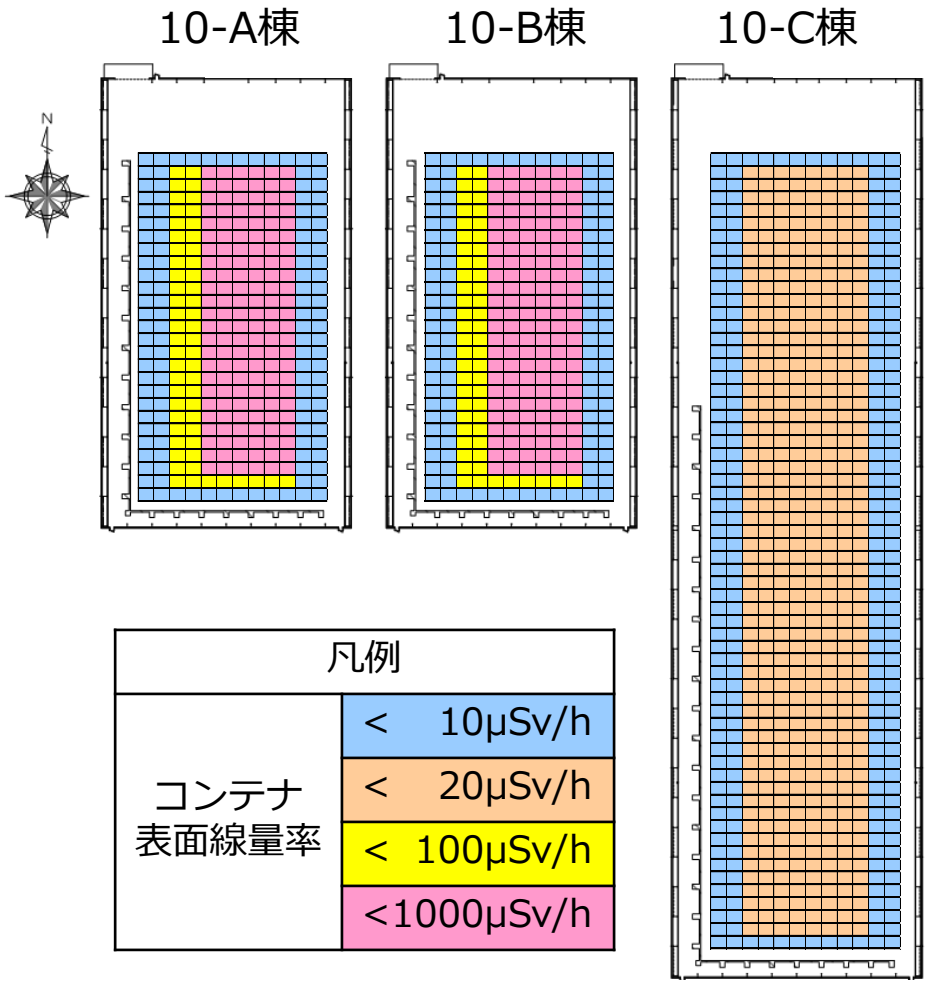
◆コンテナ配置は、線量の低いものを外側に、線量の高いものを内側にし，コンテナ遮蔽を期待した設計。

◆最も敷地境界に近い南西側に向けてＬ字型の遮蔽壁を設置。

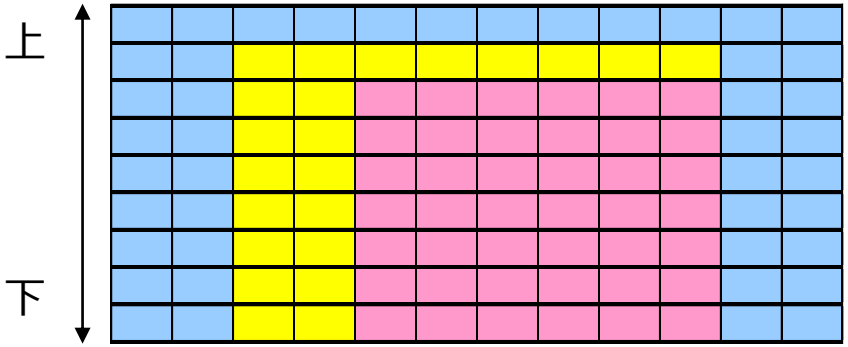


【参考】固体廃棄物貯蔵庫第10棟のコンテナ配置詳細

上から見た１段目の断面図



横から見た３～２６列目の断面図



※コンテナの定置作業は南端の列から順々に実施する必要があること、並びに表面線量率による配置制限があることから、各列で必要となる表面線量率のコンテナが不足すると、積み上げが停滞する可能性がある。